



店名の由来は宮本武蔵の『五輪書』から

五輪船

五反田駅 徒歩1分



25



【品川・大工・河崎榮通信員】五反田駅西口地下鉄入口前の誠美ビル8階に、毎日旬素材の店「五輪船」があります。ファミリーカード提携です。支店住宅アールの際、八丈島物産品のための冷蔵庫を

借りたり、豊越分会の奥座敷として新年会・忘年会等、いつも楽しい宴を開かせてもらっています。無観客となりましたが、五輪船ですが、開催地決定当時は、テレビを始め報道関係

豊越分会の奥座敷 「一人で船会員」募集中

数社から取材の申し込みがあり、質問の一番は店名の由来でした。34年前から五輪船として開店、オーナーが青年時代から愛読していた剣豪宮本武蔵が残した人生60余度にわたる真剣勝負を経て自得した兵法の奥義書である「五輪書」の2文字を借りて五輪船と名付けたとのこと。スポーツ・芸能関係のお客様も多く、色紙やカード等も飾りきれなく保管してあります。五輪盛スペシャル、創作メニュー等を発表して、いよいよ

よ本番という時に、コロナ騒動。いまだ収束の見通しは立っていませんが、次なる一手として「一人で船食会員」を企画、個人会員を募集中。70人ぐらいのメンバーを目標に安値で提供すること。希望される方は、お店かオーナー携帯までご連絡を。《メニュー》※税込込み
生ビール(中) 550円
黒龍(1合) 900円
たこ塩辛 450円
天然鯛のカブト煮 800円
お好み船 100円
営業時間 ランチ(火・金) 11時半〜13時半、ディナー17時〜23時(土・日16時〜22時)
※コロナ禍のため、変更有り
／定休日 月曜
品川区西五反田2-7-8
誠美ビル8階
☎03-344951839
2、(オーナー携帯)090-1221510726

忘れえぬこと

防空壕跡で遊んでた

あの頃をどう伝えれば



電工 塩野 明彦

今年も暑い夏が来ました。8年前にクマゼミの鳴き声のなか、参加した長崎の原水禁戦争での悲惨な傷跡は、私が育った八王子にもありました。昭和30年代、「防空壕で遊んではだめだよ」と言われ

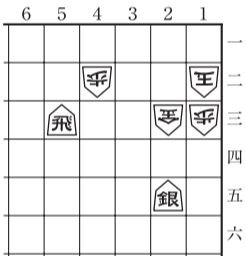
70歳まで

60年越しの夢

ウオリ・ファンクは幼い頃から飛行機に興味を持

ち、7歳の時にバルサ材で飛行機を作成。9歳で初めて飛行訓練を受ける。やがてプロの飛行士になり、1961年、女性宇宙飛行士の養成プログラムに志願し、候補者13人の一人に選ばれた。この中から宇宙飛行士は生まれなかった。そして先月20日、ブルーオリジンの宇宙船「ニューシェパード」に82歳で搭乗し飛行成功。歴代最高齢での宇宙飛行を成し遂げた。

詰将棋



チヨット一服(104)

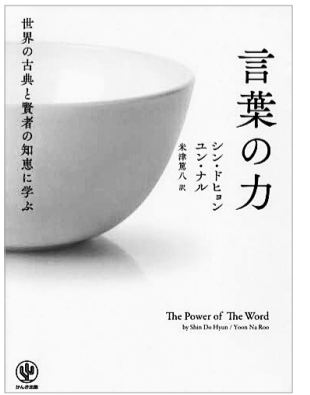
スリランカ人女性のウィシユマ・サンタマリさんの死亡について出入国管理庁が報告書を公表。収容施設の医療体制に制約があったことを認めることにも、ウィシユマさんが体調不良を訴えても看守が診療の必要はないと判断していたと報告した。

今年も暑い夏が来ました。8年前にクマゼミの鳴き声のなか、参加した長崎の原水禁戦争での悲惨な傷跡は、私が育った八王子にもありました。昭和30年代、「防空壕で遊んではだめだよ」と言われ

ていきましたが、上級生と一緒に入っていた遊んでいました。太平洋戦争の時の防空壕で、山の法(のり)面の所に横穴が掘ってあり、入り口が塞いである所、収穫物の保管場所に使われていた所もありましたが、そのままになっているものがあり入って遊んでいました。中は夏でもひんやり涼しく、小さな虫がいきました。子どもには大きかったですが大人にはかかんで入る狭い横穴でした。また、上級生が「この田んぼは大きな穴が開いて

ていたんだよ。爆弾の落ちたところなんだ」と教えてくれました。私が見たときは、穴はなくなり稲が青々と育っていました。当時通っていた小学校の分校のコンクリート製の門柱に斜め上から下に向かって穴が開いていました。「グラマンの機銃掃射で撃たれた跡なんだって」と同級生が教えてくれました。直径2cmほどの貫通銃創がありました。防空壕があった所も開発されて住宅となり、門柱もアルミフェンスになりました。八王子も空襲により焼け野原になりました。でも子どもの頃、戦争があったまきれもない証拠をあとこちで見ることが出来ました。それらの出来事をどのようにして伝えていけば良いか考えさせられます。(八王子)

言葉の力



【本部・青書ゆかり記】日常の何気ない会話や偶然に耳にした曲の歌詞から楽しくなったり、元気をもらったり、反対に悩んだり、悲しくなったりすることがあると思います。最近の私は「自分の努力は自分だけが知っている」という言葉から元気をもらっています。なんといいこともない言葉ですが、とても気に入っています。言葉には不思議な力があるなあと思っていました。この本を手にしたとき、

世界の古典と賢者の知恵に学ぶ 言葉の力

著者 シン・ドヒョン ユン・ナル 米津 篤八

誰が語るかによって価値が変わる

この本を読み終えて一番印象に残っているのは「聞くものの心を動かすのは、洗練された話術のせいではない。感動は言葉でなく、その人の生きざまから生まれるものだ。だから同じ言葉でも、誰が語るかによって価値が違ってくる」ということです。言葉には、思っているよりずっと強い力があります。きっと私のお気に入りの言葉にもその人の生きざまが影響しているのかもしれない。(かんき出版・1650円税込)



しかし報告書では死因を特定しておらず、ウィシユマさんの妹は「死因が明らかになっていないのに調査報告書と見えるのか」と疑問を呈している。原因を明らかにせず不可抗力であったとするつもりなのか。体重が20キロも激減しても診療を認めない、詐病と決めつける収容施設にまともな人権意識はない。